

館林厚生病院だより 2015.2.10

りれいと



Vol. 53

理念

信頼、安心 すべては、患者さんのために

基本方針

1. 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす
2. チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する
3. 地域医師と共助し、住民の健康を支える病院となる

HP <http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

新病棟のご案内

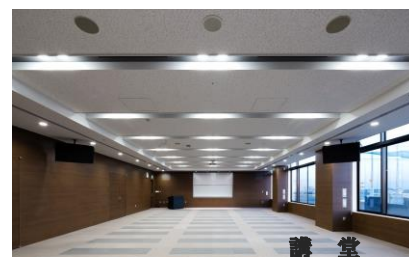
New Tatebayashi Kosei Hospital



3月9日（月）より新病棟で外来診療を開始します



ナースステーション



講堂

邑楽館林医療事務組合では、災害拠点病院である館林厚生病院の耐震化及び医療環境の向上をめざし、館林厚生病院施設耐震化整備事業を平成22年度より6か年計画で進めてまいりましたが、第1期工事分としてこのほど新病棟が完成しました。

この新病棟は、地下1階、地上8階（8階は機械室等）の免震構造となっており、地下1階は管理部門、地上1階部分に各外来、急患室、放射線部門、総合受付、会計窓口等を設け、2階には各外来、検査部門、血液浄化センター等を設けます。3階は管理部門のほか、地域住民の皆さまにも健康講座等にご利用していただける講堂を備え、4階～7階は患者さんが入院する病棟部門となっており、食事や談話室としても利用できるデイルームや、明るく清潔感あふれる病室でゆったりと療養していただけます。

また、2月27日（金）～3月1日（日）の間に入院病棟の移転作業を、3月6日（金）～3月8日（日）の間に各外来、急患室、その他診療部門等の移転作業を行い、3月9日（月）から外来診療を新病棟にて行います。（急患室は3月8日（日）の午前9時診療開始）

移転作業完了後は、第2期工事として旧病棟の解体及び残存する既存棟の改修工事が始まります。この改修工事は平成27年度末頃までかかる予定で、工事完了後は、災害が発生したときに医療活動を行えるエントランスホールが整備されるほか、患者さんをはじめ、ご来院した皆さまが快適に利用できるような売店、レストラン、喫茶コーナー等も整備されます。

これにより館林厚生病院施設耐震化整備事業が完結し、平成28年春頃（予定）には館林厚生病院はグランドオープンを迎えます。

今後は、災害に強く、より快適になった医療環境で、これまで以上に地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指してまいります。

病棟構成

8階			西病棟		機械室		東病棟	
7階			一般病床 (HCU4床)				一般病床	
			感染症6床					
6階			一般病床				一般病床	
5階			産婦・小児 (NICU)				一般病床	
4階	診療棟		一般病床 (HCU4床)				一般病床	東診療棟
3階	健診 5床		薬剤・厨房・SPD・ME			管理・厚生		回復期 48床
2階	R I		生理・検体・病理・透析・化学療法			外来		中央手術・中材
1階	画像・結石		救急・放射線・内視鏡			外来・投薬窓口・総合受付・会計窓口・事務部門		リハビリ
地下1階	放射線治療		エネルギー			剖検・霊安・病歴		

(新病棟)

- 1床室 78室(一般病床)
- 〃 6室(感染症病床)
- 2床室 6室(一般病床)
- 4床室 45室(一般病床)

(既存棟)

- 1床室 4室(一般病床・回復期リハビリテーション)
- 〃 5室(健診)
- 4床室 11室(一般病床・回復期リハビリテーション)

(差額個室について)

病室には差額個室もご用意しております

◇特別室A(1日あたり 15,000 円／税別)

主要設備・応接セット、バス、トイレ、ミニキッチン
大型テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)

◇特別室B(1日あたり 12,000 円／税別)

主要設備・応接セット、バス、トイレ、テレビ(無料)
冷蔵庫(無料)

◇個室A(1日あたり 8,000 円／税別)

主要設備・シャワー、トイレ、テレビ(無料)、
小型冷蔵庫(無料)

◇個室B(1日あたり 4,000 円／税別)

主要設備・トイレ、テレビ(有料)、小型冷蔵庫(有料)

◇2床室(1日あたり 2,000 円／税別)

主要設備・テレビ(有料)、小型冷蔵庫(有料)

許可病床 329床

免震装置



免震装置とは、ゴムや鋼板を重ねたものや、金属製のダンパーで、地盤と建物の柱の間にあり地震時の揺れ幅を最小限に抑えます



建物の各柱の最下部に設置してあります

エントランス

エントランスは第2期工事で大規模災害や事故発生時に医療スペースとしても利用できるようにスペースを広げ、光あふれるエントランスホールができあがります(右イメージ図参照)



第1期工事後



第2期工事後



放射線診断科のご紹介

当院は、3月から放射線科が放射線診断科と放射線治療科に分かれます。

今回は、小林 茂医師に放射線診断科について紹介してもらいましょう

放射線診断科と聞かれて、「???」と思われる方も多いのではないのでしょうか。一口に放射線科と言っても、現在は「診断」と「治療」に大きく分かれており、それぞれで診療内容が異なっています。私が専門とする放射線診断では、患者さんを直接診察させて頂く機会は少ないのですが、単純写真やCT(シーティー)、MRI(エムアールアイ)、核医学などの各種検査で撮影された画像を専門的立場から詳しく評価・診断し、診療基盤を支える役割を担っています。具体的には、撮影された画像で病変が存在するか(存在診断)、病変が存在した場合どのようなものが考えられるか(質的診断)、病変の広がりほどの程度か(病期診断)、治療後の治療効果はどうか(治療効果判定)などを、全身臓器にわたって行っています。

この度当院では、新病棟完成に合わせ MRI・血管造影・乳房撮影の最新鋭装置(シーメンス社製)が新規導入されます。これまでも増して放射線診断への期待が高まるとともに、日々の診療へ画像診断情報を十分反映させるためのより高度な技術・知識も同時に必要とされ、放射線診断を専門する者として身の引き締まる思いです。

放射線診断を通し、医療への更なる貢献を果たしていきたいと思っています。放射線診断科をどうぞよろしくお願い申し上げます。

MRI装置



血管造影装置



乳房撮影装置



看護師日記 ～番外編～



今回は、昨年4月に入職した看護師と歯科衛生士を紹介します。

看護師(手術室) 高野 雄毅

入職し、もうすぐ1年が経とうとしています。当初、何をしていたらいいかも先輩からの指示を確認しなければ行動できず、立ち止まってばかりでした。1日1日先輩スタッフの皆さんに指導いただき、どのように動くべきか、手術室スタッフの一員として関わられるようになったことが多くなったと感じています。間接介助も始まり、麻酔時の患者さんにどのように関わるべきなのか、学ぶことばかりであると感じています。昨年末から急患室練習も始まっており、覚えることばかりです。何がわかり、何ができないか自分自身を理解できるように日々努め、患者さんにとって安全で安心できる看護が提供できるようこれからもがんばっていきます。よろしくお願いします。



歯科衛生士(医療技術室) 寺田 満耶

入職してから早いもので9か月が経ちました。現在は、主に歯科・歯科口腔外科それぞれの診療補助、歯科の外来患者さんや周術期の患者さんの口腔ケアを行わせていただいております。学生時代の実習とは違い、患者さんと密に関わっていく中で、様々な学びがあり、歯科衛生士である自分にできることを改めて考えさせられた気がしています。

担当させていただいている仕事の中で、周術期の口腔ケアは手術や治療を予定されている方が対象となるので、口腔ケアをさせていただく側として大きな責任と難しさを感じています。その反面、患者さんの笑顔を見たり、感謝の言葉をいただいたりすることもあり、仕事のやりがい大きいのも事実です。患者さん一人ひとり、口腔内の状態、全身状態、精神的な面でも違うのでこれからも試行錯誤をしながら取り組んでいきたいと思っています。

まだまだ未熟な点ばかりなので、先生方や先輩方にご指導いただきながら自分の知識、技術の向上に努めていきたいと思っております。



編集後記

北風の厳しい季節になりました。

花粉もこれからピークになりますので、

マスク・メガネ等の対策をしていきましょう。

もちろん、手洗い・うがいの忘れずに…



担当 H

発行：館林厚生病院
(広報・年報委員会)

〒374-8533

群馬県館林市成島町262番地の1

TEL 0276-72-3140(代)

FAX 0276-72-5445

